第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～年金財政が注目を浴びる影で膨らむ医療費の財源にスポットをあてています。

2011/11/22 「100 兆円に迫る社会保障給付費の背景 ～医療費などの必要財源の確保と給付の効率化のバランスが課題～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～本年の国際金融市場で想定される動きをシナリオ別に紹介します。

2011/11/30 「2012 年の市場見通し①市場環境と楽観シナリオ ～多くの政策課題クリアが楽観シナリオの条件～」

掲載カテゴリ：嶌峰義清の「マーケットウォッチング」

～なぜ円高のデメリットだけがクローズアップされるのか、その背景を探ります。

2011/11/22 「円高メリットが乏しい理由 ～日本の輸入比率はOECD加盟 34 か国中で最下位～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～人口動態に基づく世界の成長トレンドをベースにした日本経済の長期展望。

2011/11/25 「2025 年までの内外長期経済見通し ～海外が生み出す経済の活力。大震災を乗り越え、開かれた日本経済を目指して～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～揺れる欧州財政問題、それぞれに不安を抱える世界の先進国、新興国の経済情勢を解説します。

2011/11/14 「米国　政治対立が招いた性急な財政再建で低成長が長期化（2011、2012、2013 年経済予測）～追加の金融緩和が必要に～」

2011/12/ 1 「 欧州　危機克服を目指した 10 日間の攻防が開始 ～前半戦は１勝１敗１分～」

2011/11/16 「アジア（中国・インド・NIES・ASEAN５）経済見通し（2011 年 11 月版） ～欧州問題は潜在的リスク。インフレ圧力の後退はアジアの内需を下支えしよう～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、西濵徹の「アジア・新興諸国経済」

編集後記

2012 年、年頭のご挨拶を申し上げます。本年も第一生命経済研レポートをよろしくお願いいたします。

各国人への上手な指示の出し方を題材にお国柄を皮肉った、いわゆる「タイタニック・ジョーク」。イギリス人には「あなたは紳士でいらっしゃるから…」と頼むと指示に従ってもらえるという。アメリカ人には「そうすればあなたはヒーローです」、ドイツ人には「これは規則ですから」が効果的な言い方だそうだ。

ユーロ圏の財政危機が中核国へと広がっている。主要国がさらに支援に踏み込むか、不安国が財政の引き締めを徹底するか、欧州金融機関の財務の健全性を保証するか、究極の選択だ。案の定、各国の合意は容易でなく、ドイツの首相が「もっと財政規律を」と叫ぶたびに市場は動揺した。

ところで先ほどのジョーク、日本人向けには「皆さんそのようになさっています」となっている。今年も一丸となって難局に立ち向かう、という意味ならば歓迎したい。　（H. U）